

## H. A. 英語英文学科・2年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

私は、アメリカのコメディドラマを YouTube で見たのがきっかけで英語が好きになりました。高校1年生の時に、夏休みの2週間短期留学でアメリカに行きましたが、短期だったのであまり成長を感じることができなくて、大学生になったら長期留学をしたいなあと考えていました。受験期に、同志社女子大学の協定留学制度を見て魅力を感じ、目指しました。それが同志社女子大学を決めたきっかけでもあります。

#### ② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

学部が英語英文学科なので、基本的に授業で英語学習を進めていました。授業で習った単語は一週間以内に暗記するように意識したり、洋書や洋画を見て英語に慣れるように努力していました。私は大学で受ける TOEIC 以外に、外部で英検や TOEFL などの検定を受けたことがありませんでした。なので、IELTS が初めての試験でした。大学の授業を活用しながら、試験の1か月ほど前に IELTS の参考書を購入し、通学時間などにパラパラ見たり、少し学校に残ってリスニングをしたりしていました。スピーキングの対策が何もできていなかったと思います。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

語学勉強は、大学の授業や単語勉強のアプリを利用していました。準備と課題などで忙しく、あまり語学勉強は進められてなかったと思います。

留学が決定してから出発までは、あっという間です。予防接種・VISA 申請・健康診断・履修科目登録希望…など本当にすることがたくさんありました。準備はなるべく早く済ませることをお勧めします。出発までの限られた時間で、予防接種をする際に高熱が出たため書類提出がギリギリになったり、VISA 申請に行くと必要な書類がなく、急いでコピーしに行ったり…とたくさんハプニングありました(笑)。

#### ④ 現地到着後

現地には同志社女子の学生2人と一緒に行きました。空港から大学までは、留学生をサポートしてくれる先生が迎えに来てくれて車で移動しました。私の荷物が運ばれていなくて、初日で帰りたくなりましたが、先生が空港のスタッフに伝えてくれてとても助かりました。

(次の日に大学の寮まで届けていただきました。) 空港から大学は車で1時間程です。大学に到着したら、現地の学生(アンバサダー)が歓迎してくれます。留学生1人につき1人アンバサダーが付いてくれるので、わからないことがあればすぐに質問していました。私のア

ンバサダーは日本に留学経験のある学生だったので、日本語を聞いた瞬間に緊張が溶けました。秋学期が始まる時だったので、新入生に混ざってオリエンテーションを受けました。一週間毎日ハードなスケジュールでしたが、グループに分かれて街を案内してくれたり、キャンパス内の丘でご飯を食べながらダンスしたり、パーティーがあったり、Shakespeare の劇を観に行ったり、とても充実していました。

## ⑤ 語学研修期間

### ◆ 語学研修先の施設・環境について

語学学校は通わずに、秋学期に ENG103: English as a Second Language を大学内で受講しました。留学生は全員受講必須です。先生は到着した日からお世話になった先生でした。みんなでワイワイしながら受講したのでとても楽しかったです。

### ◆ 授業内容、課題、試験

授業内容は、文法・引用の仕方・ペーパーの書き方などです。教科書はなく、プリントやスライドを見ながら学びました。初日に 1 人 1 冊 ESL Journal を用意し、毎週決められた題を書いて提出しました (Self-Introduction・Monthly study abroad reflection など)。それを見て先生が文法を直してくれたり、もっといい表現方法を教えてくれました。プレゼンテーションは一度だけで、ペーパーを合計で 3 回提出しました。試験がない代わりにファイナルペーパーを提出しました。自分で興味のあるトピックを選び調べました。

## ⑥ 正規科目履修期間

### ◆ 大学の施設・環境について

ほとんどの授業は Academic Building と呼ばれる建物で受講します。寮や図書館からも近いので、比較的移動しやすい立地でした。基本的に月・水・金は 50 分、火・木は 1 時間 15 分の授業です。体育系やアート系は建物が違うので、10 分の休憩時間内で移動するのが大変でした。先生たちは本当に親切で、相談すればいつでも助けてくださいました。勉強ができる環境はとても整っています。

### ◆ 履修科目

#### ・ INT130: Introduction to American Culture

留学生全員受講のクラスで、アメリカの基礎的な文化や歴史を学びました。先生は留学生をサポートしてくださった方だったので、楽しいクラスでした。モンティチェロ・Frontier Culture Museum にフィールドトリップに行き、そこで学んだことを活かしペーパーも書きました。アメリカ人の友達に質問してペーパーを書くという課題もあり、私は「アメリカ人のデート」を調べました。試験はありませんでした。

• **ENG103: English as a Second Language**

上記⑤語学研修期間に記入しています。

• **COMM100: Public Speaking**

留学生にお勧めの科目だったので受講しました。週 3 回あり、内 2 回はラボクラスで、クラス半分の 10 人程度の小規模クラスでした。プレゼンの仕方やスライドを作成するうえで大切なことを学び、実際に 3 回プレゼンをし、大衆の前でプレゼンをする力を身に付けることができました。教科書から出題されるテストも 3 回ありました。本クラスは講義型授業でした。とても面白く優しい、留学生のことをとても配慮してくれる先生でした。

• **PHE144C: Advanced Ballet**

日本でバレエをしていたので、息抜きになればいいなと思い受講しました。大学近くのバレエスクールに週 1 回通い、実際にクラスに参加させていただきました。大学からは 3 人だけで他は年配の方、主婦の方など様々でした。ハロウィンやクリスマスは仮装をしてレッスンしました。幼いころからバレエをしている私にとっては少し簡単でしたが、いい息抜きとなりました。受講するのに \$ 125 必要です。

• **AS106: Asian Civilization**

INT130 の先生にお勧めされたので受講しました。毎週、本や記事を読んでジャーナルを提出したり、2 日後までに 100 ページ以上読まなければいけなかったり、秋学期で一番大変だった授業でした。しかし、日本・北朝鮮・中国・インドなどの文明や、アメリカから見るアジアを学ぶクラスで、日本で受けていても気づかないアメリカ人の意見などを直接聞くことができ本当に受けてよかったと思います。また、日本人として質問されることがたくさんあったのでプレッシャーもありましたが、間違った意見を答えないように予習は熱心に行いました。1 回のグループプレゼンテーションと 3 回ペーパーを提出しました。ファイナル試験はありません。

• **JPNS101: Beginning Japanese (Teaching Assistant)**

日本語のクラスの助手をしました。最初は、ひらがなが 1 つも読めない学生たちが文章を作ったり日本語でプレゼンしたり、漢字を習っていく姿を見るのがとてもかわいく感じられ、感動でした。授業中はペアワークのお手伝いをし、ラボの時間はテスト対策をしたり質問に答えたりしました。日本人の先生だったので、休日にご飯も連れて行ってくださり、留学が終わるまでお世話になりました。

(春学期)

• **DAN103: Dance History and Cultural Understanding**

バレエをしているのでダンスの歴史に興味があり受講しました。この春学期にスタートし

たばかりのクラスで、クラスメイトは踊ることが大好きな学生ばかりでした。先生も学生も授業中に踊りだしたり、リズムを刻みながらプレゼンしたりする楽しいクラスでした(笑)。ダンスの始まりや、様々な国の伝統的なダンスの歴史を時代ごとに学びました。2 週間に 1 回教科書から出題されるクイズと、毎週エッセイや分析を提出しました。グループに分かれてダンサーを調べ発表もしました。また、毎週金曜日に 3 人ずつプレゼンテーションがあり、各国の伝統的なダンスを発表し、私は盆踊りを発表しました（オンライン授業に移行したのでスライドとアウトラインのみの提出）。ファイナルはオンライン試験とペーパーがありました。

• **ENG204: Children's and Young Adult Literature**

英文学の科目を取るために受講しました。グリム童話・ハリーポッター・チャーリーとチョコレート工場などの有名な文学作品を読み、子供たちに何を伝えているのかを学ぶクラスです。次の授業までに本を読みディスカッションをしますが、クラスメイトは本が大好きな方ばかりで、幼いころから親しい本なので、話についていくのが大変でした。グループプレゼンテーションが 1 回とペーパーを 3 回提出しました。

• **THEA110: Basic Production: Costumes/Stage Management**

舞台の衣装やメイクに興味があったので受講しました。演劇専攻の学生と一緒に、舞台の構造や照明だけでなく小道具や衣装（裁縫や染色）についても学びました。実際にグループに分かれて、1 クラスの間に与えられた材料だけで衣装を作って競い合う授業もあり、とても楽しかったです。また、MBU で行われる劇場で使用する衣装もクラス内で制作しました。Project hour という授業外でポイントを稼がなくてはいけないシステムで、自分の空いている時間に作業室に行き、衣装づくりのお手伝いをしました。試験はありませんが（オンライン授業になったため）、家にある材料で衣装や小道具を作り、提出する課題がありました。

• **COMM280: Intercultural Communication**

秋学期に受けた COMM100 の先生のクラスで、興味があったので受講しました。先生は留学生をものすごく配慮してくださりととても助かりました。異文化の人々とコミュニケーションを取る際に大切なことを学びました。留学生にとって、アメリカ人の意見も聞けてタメになりました。ドキュメンタリーを観て異文化に触れました。テストが 3 回あり、2 回は筆記、ファイナルはオンラインで 3 時間ほどの制限時間がありました。プレゼンテーションは興味のある国の教育や政治などを調べ発表しました（オンライン授業に移行したので、動画撮影と YouTube 投稿でした）。

• **PHE139: Dance Fitness Workout**

帰国までに増えた体重を減らさなければ！というだけの理由で受講しましたが、思ったよ

りもハードな運動でした(笑)。音楽に合わせて45分間、ZUMBAなど激しいダンスを踊り続けます。ダンベル持ちながら踊ることもありました。汗だくになりますが、週1回のいい運動でした。先生はDAN103の先生と同じ方でした。オンライン授業になってからは、自分で運動をして最終週にリストを提出しました。フィットネス界で重要な人物を調べてサマリーを書く課題もありました。試験はなくペーパーを提出しました。

#### ◆ 授業、レポート、定期試験

授業はたまに休講になることがありました。休講の場合補講もありません。一度だけ雪が積もり、先生たちが車を利用できないために全授業が休講になる日もありました。メールが届いたときダイニングホールにいましたが、全員が騒いで踊っていて「アメリカだなあ」と実感しました(笑)。各学期の最終週はファイナルウィークで授業もなく、試験やペーパーに追われていました。私は実際に学期末試験を筆記で受けることはありませんでした。

#### ⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

COSMOSという留学生全員が参加している国際交流のクラブに入っていました。アンバサダーの方や国際交流が好きな方が加入していて活動はあまりありませんが、みんなで折り紙を折ったりポップコーンを食べながら映画を観たりしました。

冬にダウントウンで小さなお祭りが行われ、馬車のための交通整備のボランティアをしました。極寒の中だったのでともしんどかったですが、アメリカの車を誘導するという貴重な経験ができました。

春学期には毎週月・水曜日の夕方に1時間ZUMBAのレッスンが無料で受けられたので、運動するために行っていました。

#### ⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

キャンパス内にあるPEGという、一番綺麗でセキュリティがしっかりした寮の4階に留学生は滞在しました。部屋は3人部屋で秋学期は日本人と韓国人、春学期は日本人とインド人の2人とルームシェアでした。机・ベッド・クローゼット・引き出しなど生活できる家具は全て揃っています。各階にリビング・トイレ・シャワーがあり、キッチンはとても簡易的ですがダイニングホールに飽きたらラーメンを作って食べていました。アリスさんという掃除のおばちゃんが毎日掃除してくれていたため、寮はとてもきれいでした。時々シャワーが冷水しか出ないときがあったり、ヒーターが起動しなかったり、冬は辛かったです。日用品（シャンプー・ドライヤー・布団カバーなど）はWalmartに買いに行きました。PEGは図書館・Academic Building・Hunt Dining Hallから一番近い場所に建っていたので、移動はとても便利でした。冬の間は授業が始まる5分前まで部屋で温まっていました。

食事はHunt Dining Hallで毎日3食食べられます。元々女子校だったからなのか、サラダ

バーやベジタリアンのためのメニューも用意されています。食事は、朝はヨーグルト・シリアル・パンなどで、昼夜はピザやハンバーガーなどのジャンクフードが多かったですが、私は苦ではありませんでした。むしろ食べ過ぎていました(笑)。ドリンクやアイスクリームも豊富にあります。週に 3 回アジア料理のコーナーがあり、お寿司・中華・フォー・ラーメンなどが食べられるので毎回並んでいました。アメリカ人はロールばかり食べるので、にぎり寿司を留学生でたくさん食べました。Hunt Dining に飽きたら、キャンパス内にあるカフェでサンドウィッチやサラダも Student ID を見せたら食べることができます。ちなみにカフェにはスターバックスも入っていて、毎学期 \$ 50 ずつ ID カードに支給されるので全部使いきるまで飲んでいました。

### ⑨ 長期休暇の過ごし方

長期休暇は寮が閉鎖されるためキャンパスを出なくてはなりません。

#### ・秋休み

留学生全員でワシントン D.C. に旅行に行きました。Airbnb でホテルを取り、バスで 4 時間ほどかけて行きました。ホテルのある街がワシントンで一番治安の悪い街で、常にパトカーの音が鳴っていました。MBU のあるスタントンはとても治安のいい場所だったので、あまりの違いにショックを受けましたが、みんなで夜は絶対に外出しない、移動は Uber を使用するなどルールを決めてなんとか楽しむことができました。アメリカは貧富の差がすぐに目でわかるため、とてもいい経験になりました。

#### ・Thanksgiving day

留学生 1 人につき 1 家族ずつペアになり、実際のアメリカ人家族と交流する Friendship family という制度があります。私のファミリーは 4 人の子供がいる家庭で、とても仲良くさせていただきました。娘さんのサッカーの試合を観に行ったり、教会に行ったり、お父さんの働いている学校に見学に行ったり、とにかくいろんな思い出を作りました。Thanksgiving の時に滞在する場所は無いと相談したら家に招いてくださったのでホームステイさせていただきました。おばあちゃんの家にも行き、一緒に Thanksgiving 恒例のマラソン大会にも参加したり、伝統的な料理も食べました。ブラックフライデーでは、近くのショッピングモールに連れて行って買って買い物もしました。

#### ・冬休み

節約のために、最初の 2 週間はまたまた Friendship family にお世話になりました。家事を手伝ったり一緒に夜景を観に行ったり、本当にホームステイをしているようで感謝しかありません。クリスマスも一緒に過ごし、アメリカのクリスマスを経験することができました。クリスマスに近づくにつれて、ツリーの下のプレゼントが増えていくのを見るのが楽しか

ったです。子供たちは当日6時に起きて、全員で一斉にプレゼントを開けます。子供から親にも用意していて、すごく良い文化だなと実感しました。私にまでプレゼントを用意してくれていました。そのあとの1週間は、別の大学に留学中の友達と New York に旅行しました。Virginia から電車で6時間かけて1人で New York に行った自分に感動しました(笑)。タイムズスクエアのカウントダウンにも行けて、12時間立ちっぱなしで食べ物もなく、トイレも行けない状況でしたが1つ夢が叶いました。

・春休み

友達と Los Angeles に旅行に行きました。久しぶりの再会は本当にうれしかったです。秋休みの経験を活かして、立地もきちんと調べてホテルを予約したので安全でしたが、やはり夜は怖いのであまり遅くならないように気をつけていました。ハリウッドサインまで登山・グリフィス天文台・ビーチ・ディズニーカリフォルニアアドベンチャー・古着屋巡り・美術館などいろんな場所を観光できました。この旅行でもまたまた Los Angeles で一番治安の悪いスキッドロウに着いてしまい、走って逃げました(笑)。ホテルの近くにメトロの駅もあったので電車を利用しましたが、夜は危ないので Uber を利用しました。この時期はまだアメリカでコロナウイルスは流行っていなかったもので、日本人も多かったです。

#### ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

2回生の秋から出発だったので、特に就職活動はしていませんでした。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

私が一番充実したと思うことは、人間関係です。毎日課題ばかりで、図書館にずっと籠って夜中12時近くまで勉強したり、辛いこともありましたが日本・韓国・台湾・インド・アイルランドから来た留学生と毎日励まし合いながら切磋琢磨し、休みの日は夜遅くまで映画を観たり、ゲームをしたり、ご飯を食べに行ったり、そういった日常が留学する上で充実しており、またストレス解消となっていました。留学を通して出会えてよかったです。また、私の場合は Friendship Family に本当にお世話になりました。寮生活でありながらホームステイも経験することができたし、子供たちと遊び、宗教の事や歴史なども教わりました。本当のアメリカ人家族と生活をするのができて良い文化交流となりました。コロナウイルスの影響で早期帰国となりましたが、最終日にはわざわざ大学を訪ねてくださりご飯と一緒に食べました。6歳の末っ子が最後に「もう会えないの？バイバイしたくない」と言ってくれた時、絶対にまた会いに行こうと心に誓いました。アメリカで「大切な家族」に出会えてよかったです。不安でいっぱいの中、素晴らしい人間関係を持てたことが

本当にうれしく感激しました。

## ② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

最初は英語を話せない自分が嫌で何度も挫折しました。日本にいる時、英語は好きで得意な方で、成績も良い方だったのに、いざネイティブの方と話すとは何も出てきませんでした。返事はできても、そこから話題をつくることができなかつたので、会話が弾まなく落ち込むこともありました。また、元々のんびりな性格なので、話すときも比較的ゆっくり話していたので、その間に話が終わっていることもありました(笑)。日が経つにつれて、ネイティブの方がよく使っているフレーズなどが大体把握できるようになり、真似ていました。困っている時でも、アメリカ人の友達はずたない英語を頑張って理解しようとしてくれていたので、そのおかげで会話も弾みました。

課題にも苦勞しました。日本にいる時とは比べ物にならないくらいの量が毎日全授業で出されます。そのため、遊ぶ時間は全然ありませんでした。ある週では、ペーパーを3つ提出とテストが2個+100 ページの本を読んでくるという事もありました。アメリカ人よりも倍以上時間がかかるので、とにかくずっと図書館に籠っていました。段々容量をつかんできたので、課題をすることも苦じゃなくなりました。秋学期に留学生全員に初めてのペーパー課題が出たときは、全員で夜中の3時頃まで起きて頑張っていたことも印象に残っています(笑)。

辛かったことや苦勞したことではありませんが、とても印象に残っていることが、春休み後の隔離生活です。今となつては笑い話です(笑)。2月の下旬、コロナウイルスが日本では話題になっていましたが、アメリカではまだ流行っていなかつたため、アジア人差別があつた時期でした。その時期に、春休みだったので日本からロサンゼルスに来てくれた友達と旅行に行き、思う存分楽しんで大学に戻つた時に、留学生サポートの先生から1通のメールが届きました。内容は「日本人とロサンゼルスに旅行に行ったから、念のため検査を受けてほしい」とのことでした。そのメールが届いたときはびっくりしましたが、私は元気だったのですぐにヘルスセンターに行き、元気なことを証明しました。しかし、その日の夜に図書館で勉強をしていたら、私の部屋の前に MBU のトップの方が来ていると友達から連絡があり、すぐに駆け付けると「今から隔離するから荷物をまとめて」と言われました。この時に、私自身は熱もなく元気なのに、日本人と旅行をしたという理由だけで隔離されるとわかり、ある意味差別されているのではないかと思ひ、とてもショックでした。キャンパス内にある豪邸のゲストハウスに独りぼっちとなり、友達とも会えないまま1週間生活しました。しかし、ご飯は毎回デリバリーしてくれていたもので、とても居心地がよく優雅に暮らしていました(笑)。その間に、クラスがオンライン授業となり、アメリカ人の学生はどんどん家に帰っ

ていきました。結局春休み後、対面授業に出席することができなかったので、仲良くしてもらっていた友達にお別れの挨拶ができず残念です。コロナウイルスによって早期帰国となってしまう、「留学終了！」と達成感はあまりありませんが、今思えば、留学生が隔離されることなんて滅多にないことなので、いい経験をしたなあと思います。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

留学前に想像していたアメリカの文化・習慣とは大きく異なり驚いたことはたくさんあります。この留学を通して、アメリカ人はとにかくフレンドリーで親切です。友達ではない学生にもすれ違う際に挨拶をしてくれて、教室に入るときは必ずドアを開けて待っていてくれます。例えば私が扉から遠い場所にいたとしても、知らない人でも開けてくれています。そういった他人への配慮が習慣づいていることはとても素晴らしいと思います。また、現地の学生は切り替えがすごく、平日は図書館にたくさんの学生がいて、みんな集中して勉強していますが、土日はドレスを着てメイクをして、パーティーを夜中の2時まで楽しみ、そして平日はまた勉学に集中しています。授業中も常に手を挙げて発言しているし、課題もきちんとこなしていて、最初は本当に驚きました。私はなかなか授業中に発言することも出来なくて、土日も課題で追われていたので、彼らの事を尊敬しています(笑)。違う場面で驚いたことは、授業中の態度です。授業中、携帯を触っている学生は全然いませんでしたが、堂々とサンドウィッチや辛ラーメン・りんごなどを食べていてびっくりしました(笑)。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

・良かった点

まず、MBUのある街スタントンは本当に治安が良かったです。大学の周りには小さなダウンタウンがありますが、ちょっと高価な雑貨屋さんや服屋さんなのであまり買い物することはありませんでした。休日に外出に行ったり、お土産を買うのが楽しかったです。マクドナルドですら車を使わないと行けない距離です(笑)。しかし、田舎だからこそ、街の人が全員フレンドリーで家族のようでした。ご年配の方もすれ違う時に挨拶してくれたり、いつも通っていた雑貨屋さんの店員さんも私のことを覚えていて下さっていたり、とにかく安心して暮らせる街でした。同様に遊びに行く場所がないので、勉強する環境はとても整っていました。

一番の良かった点は、MBUの留学生サポートが充実しまくっていることです。アメリカに着く前の書類や履修登録の時さえ、まだ面識がないのにすでにサポートしていただき、留学中は最初から最後までお世話になりました。大学のことだけでなく、例えば旅行先のホテ

ル・飛行機などのトラブルも一緒に解決していただきました。私が旅行後に隔離されていた時も、毎日電話をしてくれて「体調は大丈夫？もうすぐみんなに会えるからね」と声をかけてくれました。また、帰国の際には、コロナウイルスの影響で飛行機の日程を変更しなくては行けませんでした。留学が始まってすぐに帰りの便を日本の予約会社で予約していました。その時に、相談するとわざわざその会社に電話していただき、帰る手続きを手伝ってくださいました。大学の授業面だけでなく、そういった私生活もずっと見守ってくれていたおかげで、安心して留学生活を送れたのだと思いました。お母さんのような存在です。

・悪かった点

悪かった点は特にありませんが、強いて言うのであれば田舎過ぎることです(笑)。安心面ではよかったです。逆に言うるととにかく遊ぶ場所がない・移動手段がない・電波が通らないです。なので、基本は大学に滞在して、旅行の時に空港に行く際は先生に頼んで \$60 ほど払い往復送迎をしていただきました。電波に関しては、私はソフトバンクの「アメリカ放題」に加入していました。アメリカに着いたら自動的に接続されるので、SIM カードを購入する必要はないはずでした。しかし、スタントンはあまりにも田舎だったので、大学内では Wi-Fi があるので大丈夫なのですが、外に出ると全然つながらなく、急遽 SIM カードを購入することとなりました。MBU に留学に行く際は SIM カードを購入することをお勧めします。

**② 日本から持って行って、特に役に立ったもの**

パソコン…留学に行く前に購入しました。図書館にもパソコンはあり自由に利用できますが、自分のパソコンは持っていくのがいいと思います。課題も基本的にはパソコンを使用するものばかりで、授業によっては、パソコンを持参する授業もありました。

塩昆布…一番お世話になったといっても過言ではありません(笑)。元々ジャンクフードも好きなので、食事は苦ではありませんでしたが、突然日本食が恋しくなります。そんな時にはいつも塩昆布をパクっと一口食べていました(笑)。おつまみのような感覚です(笑)。韓国人の友達も塩昆布にハマっていて、一緒に夜食に白ご飯と食べたりもしていました。

私の場合は、ハンガーやドライヤー・勉強机ランプなど、前年度の先輩たちが MBU に寄付してくれていたもので、それを使わせていただいていた。しかし、今年はコロナウイルスの影響で私たちが使ったものもすべて処分するとの事で寄付ができませんでした。日用品は Walmart というとても大きいスーパーで購入できるので、現地調達で大丈夫です。

**③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと**

留学している時は自分の語学力が向上したのかわかりませんでしたが、NY に 1 人で行った時や LA に旅行した時に、自分の英語力が伸びていると実感しました。アメリカ人がボソボ

ソっと話していることも理解できるようになったので、自分の事を言われている時もきちんと聞いていました(笑)。語学力以外にも、自立して行動し、判断力や行動力も強くなったと思います。自分の意志で行動しているアメリカ人にとっても影響されました。留学後、まだ英語試験などは受けられていませんが、この留学で培った力を忘れずにずっと身に着けていたいと思っています。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は思っている以上にお金もかかります。精神も削られますが、一生で一番の思い出の1つになります。私自身、留学前は毎日学校に行ってぼーっと授業を受けて、電車でぼーっとして、アルバイトして帰って寝て、休日は遊んでの繰り返しでした。でも、心の片隅には高校の時から夢だった「留学したい」という思いがありました。なにか刺激が欲しくて、英語をもっとペラペラ話している理想の自分に一步近づくために、準備を始めたのがきっかけです。親にもたくさん負担をかけてしまいましたが、子供のことを本当によく考えてくれているので、今しかないチャンスを逃さないで、行動することが大切だと思います。いろんな壁がありますが、大切な一日一日を充実してほしいです。がんばれ！

### IV. 将来の目標

#### ① 今後の進路、将来の目標・夢

将来の夢はまだ明確には決まっていますが、留学前も後も飲食店での接客のアルバイトをしていたので、その経験も活かせるらいいなと思います。協定留学で身に着いた自分の英語力を活かした職に就きたいと思っています。

V. 写真



留学生活が始まってすぐ Welcome Party がありました。現地の学生も来てくれて、ここで友達になった学生は留学期間ずっとお世話になっていました。



ハロウィン当日です。夕方まで、授業を受けて、夜の9時頃からダイニングに行き夜中の2時までパーティーがありました。最初は抵抗がありましたが、みんなでワイワイダンスすることに慣れた気がします(笑)。



クリスマスの時期になると、キャンパス内の中心に大きなクリスマスツリーが飾られます。この日は点灯式で、合唱があったり、みんなでホットチョコレートを飲みながら楽しみました。



バレエのクラスです。ハロウィンとクリスマスの時に、みんなでコスチュームを着てレッスンしました。ちなみに私は、衣装を準備するのを忘れていました(笑)。レッスン場にあった緑と赤のリボンを髪の毛に巻いてくれました。とてもアットホームなクラスでした。



Friendship Family です。いろんな場所に連れて行ってもらいました。この日は、早期帰国になったと連絡をしたらわざわざ大学に来てくれて、一緒に外でピザを食べたときです。

## N. O. 英語英文学科・2年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

入学当初から留学を目指していました。他の留学制度とも悩みましたが、単位交換制度があることと、現地の大学生と同じ授業を受けるという点が決め手でした。現地の大学生と一緒に授業を受けることに大きな不安を感じましたが、自分の能力をいちばん伸ばせると思い、協定留学を目指そうと決めました。

#### ② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

IELTS の writing、listening、speaking、reading の中で speaking を重点的に勉強しました。対策として、オンライン英会話（skype での授業）を試験まで2か月ほどやっていました。IELTS の公式サイトサンプル問題も使って対策をしました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

決定から出発までビザの申請、予防接種、保険など他にも出さなくてはならない書類が多く、正直大変でしたが国際課の方々に助けていただき、他の協定留学生とも助け合いながら準備を進めていきました。予防摂取は何回もしないといけないものもあるので、何の予防接種が必要なかがわかったら、すぐに始めることをお勧めします。全部で3回受けないといけないかったり、他の予防接種と期間をあけて打たないといけないので、早めにそのスケジュールを病院の方と考えるのがいいと思います。勉強面に関しては特別なことは特にしていません。正直、書類等で忙しかったので、勉強面で留学のために特別したことはありませんが、授業での発言や課題をより一層がんばるようにしていました。

#### ④ 現地到着後

大学最寄りの空港に大学スタッフの方が迎えに来てくださり、その方と車で大学まで行きました。大学に到着するとアンバサダーの学生が待っていてくれました。アンバサダーは1人の留学生につき1人付いてくれます。ですが、基本的にはアンバサダーの学生たちと留学生たちとの集団行動で、1週間ほどのオリエンテーションがありました。みんなすごく親切で、常に留学生みんなのことを気遣ってくれました。オリエンテーションではアンバサダーの方々が校内を案内してくれたり、食堂でお話ししながらご飯を食べたり、近くの劇場でシェイクスピアの劇を見たりしました。

#### ⑤ 語学研修期間

正規科目履修期間が秋学期からスタートするプログラムだったので、語学研修は受けていません。

## ⑥ 正規科目履修期間

### ◆ 大学の施設・環境について

大学の校舎はとても綺麗です。図書館や授業用の建物、カフェや体育館など、すごく充実した設備でした。グラウンドや体育館は寮から少し離れた場所にあり、そこは Wi-Fi が通っていませんでしたが、そのエリア以外はすべて Wi-Fi は通っていました。学校から少し歩いたところには小さなダウンタウンがあり、雑貨屋やカフェ、映画館、レストランなどがあり、Food Lion というスーパーも歩いて行ける範囲にあります。学生はバスが無料なので、Walmart という Food Lion よりも大きなスーパーに行くこともできます。

### ◆ 履修科目

#### ・ ENG 103 English as a Second Language

これは留学生全員が取る授業で、留学生だけで授業が行われます。基本的には writing が中心なので、essay の書き方などを基礎から学びます。留学生のみんなと楽しく受けていました。

#### ・ INT 130 Introduction to American Culture

これも同様、留学生が受ける授業です。アメリカの歴史について学び、フィールドトリップで博物館に行ったりします。

#### ・ JPNS 380 Teaching Assistant for JPNS 101/102

これは日本語の授業で、先生のアシスタントをしました。学生の手助けをしたり、会話練習の相手をしたりしました。日本に興味を持つ学生が多いので、友達が作りやすかったです。

#### ・ COMM 100 Public Speaking

過去に MBU に留学されていた先輩方のレポートを見てこの授業を取りました。この授業はスピーチの力を伸ばすためのものなので、学期内に何回かスピーチをしました。筆記のテストが数回ありました。

#### ・ BUAD 230 Marketing Principles

私はビジネスの授業を何か取りたいという思いが強かったので、それまでビジネスのことを学んだことはありませんでしたが、マーケティングの基礎の授業なので取りました。授業では、学生が話し合ったり意見を言う時間が多かったです。プレゼンが1回とテストが数回ありました。

#### ・ PHE 171 Tennis

これは息抜きのために何か体育系の授業を取ろうと思って取った授業です。テニスを基礎からやる授業で、楽しかったです。

• **COMM 280 Intercultural Communication**

コミュニケーションの授業で、様々な国の文化によるコミュニケーション方法の違いについて学びます。色々な国についてのビデオを見ます。ビデオに関する letter を 2 回とテストが 3 回、スピーチが 1 回ありました。スピーチでは 1 か国を自分で選んで topic を決めてやりました。

• **ENG 204 Children's and Young Adult Literature**

これは英語英文学科の基礎ゼミの単位に読み替えをするために、literature の授業を取る必要があったので取りました。何本も小説や童話を読んで paper を 4 つ書いたのと、プレゼンが 1 回ありました。授業では主にその話に関してクラス全体で話し合う感じでした。正直読む本が多く、進むスピードも早いので reading が大変でした。

• **BUAD 362 Consumer Behavior**

この授業では主に、人が商品を買うプロセスや商品の購入にどんなものが影響を与えているかなどについて学ぶ授業でした。先生の説明はすごくわかりやすく、学生が意見を出すことも多く、面白い授業でした。

• **PHE 139 Dance Fitness**

息抜きのために取った授業でした。Fitness なので疲れますが、音楽に合わせて楽しく踊る授業でした。

• **PHE 122 Stress Management**

これも息抜きに取りました。ストレスの解消法やストレスを溜めないために効果的なことなどを学びました。座学もありますが、ヨガをしたりウォーキングをしたりもしました。

• **INT 277 Living and Learning the Pandemic**

May Term に取った授業です。コロナの問題を受けて新しく作られた授業で、科学的、政治的、文化的、歴史的など、様々な視野から pandemic を学びました。課題がとにかく多く、正直すごく大変でしたが、感染症による pandemic について多くのことを学べたのですごくいい機会になりました。

◆ **授業、レポート、定期試験**

日本では先生が説明してそれを板書するだけという授業が多いですが、ほぼ全ての授業で学生が多く発言をします。いわゆる Active Learning というものを経験できると思います。学生は質問や意見があればバンバンしますし、先生も学生の意見によく耳を傾け、先生主体ではなく学生主体の授業をします。授業中にお菓子やバーガーなどを食べている学生がいますが、教授がそれに対して怒ることはありません。課題は reading の課題や paper、プレゼンテーションなどが多く出されます。授業を受ける以外にすることがないことはほぼあ

りませんでした。定期試験も学期末のテストだけでなく中間試験もある科目もありました。先生によってはテストで電子辞書の使用を許可してくれました。授業によってはアシスタント（学生）がいるものもあり、その人がテストや課題に関する質問に答えてくれたり助けたりしてくれます。

授業が始まって1週間は履修期間なので、授業が想像していたものと違えば、やめたり追加したりできます。

### ⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

Cosmos という留学生と現地学生が交流するクラブに入っていました。一緒に「千と千尋の神隠し」を観たりしました。ダウンタウンで horse riding のイベント？があつて、そのための交通整備のようなボランティアをしたりしました。

### ⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

寮は PEG という校内で一番綺麗で安全な寮に住んでいました。留学生はみんな4階に住んでいて、基本2人部屋ですが私は3人部屋でした。誰かの部屋に集まってワイワイ遊んだり、一緒に映画を見たりしました。シャワー室は3つありますが、場所によって水圧が違ったり水の出る感じが違ったり、お湯が出ないことがあったりします。教室や図書館、食堂まではすぐ行ける距離でした。食堂はアジア料理が月水金に出て、お寿司やラーメンが出たり、他にもバリエティー豊かで、サラダバーもあるので満足の行く食事ができます。カフェでサンドイッチやスタバも利用できます。寮に簡易的ではありますが、キッチンがあるので、もし食堂のものが合わなければ自炊もある程度は可能です。

### ⑨ 長期休暇の過ごし方

Fall Break は留学生のみんなとワシントン D.C.に行きました。Thanksgiving Break ではアメリカ人の友達の家泊まりました。Winter Break は NY、Philadelphia、Florida に韓国と台湾の友達と行きました。Spring Break は寮に滞在することができたので滞在して、ゲームをして遊んだり映画を見たりしました。

### ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

大学2回生で留学に行ったので特に就活はしていません。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

寮で留学生みんなとワイワイ喋ったりゲームしたり、騒いだりしていた日常がすごく楽しかったです。誰かが課題に追われていたら励まし、終わればみんなでトランプしたり騒いだり、誕生日の人がいたらみんなですばいずでお祝いしたりしていました。

MBUではよくパーティーがあります。学校主催の大きく豪華なものもあれば、学生主催のものもあり、毎回DJが来て盛り上げてくれます。日本ではなかなか経験できないことなので、とても楽しかったです。

## ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学生活が始まってすぐが一番辛かったです。ホームシックや自分の実力の低さにショックを受けて留学生活をやっている気がしなかったです。でも授業が始まればそんなこと言っている暇はなく、そのような気持ちはいつの間にか消えていました。

課題は多く、出される頻度も日本とは比べ物になりません（授業によりますが）。なので、本当に課題に追われる日々でした。文学の授業では、すごい頻度で本を次々に読んでいかないといけなかったのも、一番 reading が大変でした。

## ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

授業中に、学生がお菓子どころではなく普通にハンバーガーを食べていたのはびっくりしました。見た感じは授業を受けているというより食事しているようにしか見えないのに、挙手して意見を言ったりするので驚きました。また、パソコンでゲームをしたりネットショッピングをしたり、絵を書いたりしている学生もいて、でもそういう学生に限って挙手して質問や意見を述べるので、なんだか真面目なのか違うのかという感じで不思議でした。教授も特に怒らないので、日本ではない光景だなと驚きました。

午前の授業にパジャマみたいな格好で来る学生が少なくとも数人はいて（冬は特に）、それは本当に驚きました。みんな誰がどんな格好をしていようが寝起きのような感じで来ようが気にしていなくて、本当に自由でした。

みんな Lazy なのか、授業に遅れてきてもゆっくり堂々と教室に入ってきます。急ぐ感じもなく、教授も普通に挨拶するのでびっくりしました。

一番衝撃だったのは宗教の影響の大きさです。人にもよりますが、私のフレンドシップファミリーは厳格なクリスチャンで、宗教がその人の生き方考え方にすごく影響を与えていることに驚きました。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

MBUは他の留学先大学と比べても本当にサポートが手厚いです。授業のことだけでなく生活面でも、本当にどんなことでも困ったことがあれば助けになってくれます。なので、何かハプニングがあっても安心でした。教授たちも留学生に対する理解がすごくあり、助けてくれます。食堂の料理も美味しく校舎も綺麗なため、あまり困ることはありませんでした。

悪かった点は、たまにシャワーのお湯が出ないことがあったことぐらいです。それもそんなに頻繁にあることじゃないので許容範囲内だと思います。すごく良い大学です。

## ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは絶対に必要です。図書館にパソコンはある程度数がありますが、自分のパソコンを持っていない学生はいないぐらいで、ないと不便かなと思います。あれば、部屋でも図書館でもどこでも作業ができるので、あったほうが良いと思います。

携帯に関してはSIMを買ったほうが良いと思います。大学内ではWi-Fiがあるので大丈夫ですが、校内を出れば使えなくなってしまいます。ソフトバンクのアメリカ放題は本当に使い物になりません。私はソフトバンクのアメリカ放題で大丈夫だと思って行きましたが、全くダメで、結局10月頃にSIMを買いました。日本から契約できるもので、日本語サポートもあるものだったので、安心でした。

足りないものがあれば基本Walmartで買えますし、Amazonを使えば正直なんでも買えるので、そんなに大荷物で行く必要はないと思います。ですが、常備薬や化粧水などのスキンケア系は持っていくことをお勧めします。

## ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

最初は留学生活をやっていけるのか不安で、自分の語学力の低さを思い知らされた感じでしたが、帰国する頃には現地の友達も増え、これからアメリカのみんなと会えないのが悲しくなくなったぐらい語学力の不安はなくなっていました。一番大きく変わったのは精神的な部分だと思います。強くなったと思うし、チャレンジ精神も強くなりました。

## ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学当初は不安に感じることや気分が下がることもありますが、絶対に自分にとって貴重な経験ができるし、成長できるので勇気を出して挑戦してほしいと思います。初めは不安でも、日々過ごせばいつの間にかその不安は消えて留学生活を楽しむことができます！たくさんの方が助けてくれるしサポートしてくれるので大丈夫です！留学先での不安は考えすぎず飛び込んでみてください！

## IV. 将来の目標

### ① 今後の進路、将来の目標・夢

将来の夢や進路はまだ明確に決まってはいませんが、異文化や海外の人と関わりを持てるような職業に就きたいと思っています。

V. 写真



これは junior ball という 3 回生のための学校主催のパーティーです。留学生は 1 年もいないので特別に参加させてもらえました。参加者の親も来たりする豪華なものでした。



Spencer Center でクリスマスパーティーがあった時に撮った写真です。



ある日の夕方に景色が綺麗だったので撮った写真です。本当にいい天気で快晴の日が多く、毎日空が綺麗でした。



こんな風に夜はリビングでトランプをしていました。

## M. T. 英語英文学科・2 年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

大学 1 年の秋に入ったころ、バイトや日々の課題に追われていた私はふと、「最後の学生生活の中で自分は何がしたいのか」を考えました。そして、一番に留学が思いつきました。私は、高校 2 年生のときにも 1 年間留学を経験しています。その時経験した言語の壁や苦い思い出は、私を何十倍も成長させてくれました。1 年は長いようでとても短く日々周りの環境、人、文化から刺激を与えてもらっていました。あの時英語を苦手分野としていた私の生活を 180 度変えた留学をもう一度体験したい、もっと海外の文化を知り、語学力を高めたいと思い協定留学を目指しました。

#### ② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

私が留学を決意したのは、他のみんなよりも遅れてだったと思います。急いで IELTS のテストの申し込みをし、単語のインプット（英検準 1 級のパス単）に取り組みました。過去問を受け、問題や出題傾向などに慣れつつ、数をこなしていくうちに、解くスピードや点数が比例して上がっていききました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定して喜んでいるのは束の間で、すぐにオリエンテーションや準備などに取り組み始めました。予防接種をなるべく早めに受けたり、ビザの申請は 1 つ 1 つ集中して間違いのないように入力したり、提出用に自分の写真を自撮りしたり、大阪に面接に行ったりで大変だったけど、留学に向けて共に頑張るメンバーと一緒に相談したり、情報共有し合いながら取り組んでいました。

#### ④ 現地到着後

関西空港→ロサンゼルス→シャーロット→シャーロットビルと 3 回飛行機を乗り継ぎました。（私たちは 6 月下旬くらいから飛行機を取ろうという話になったのですが、シャーロットビルに行く飛行機が少なく時すでに遅しで、航空券の選択肢は少なかったです。。）大学から一番近いシャーロットビル空港に着いたのは午前 11 時くらいでした。日本を出て 3 機の飛行機を乗り継いでやっと到着した地はとても新鮮で、これからの留学生活の幕開けを感じました。空港には advisor の Amy さんがお迎えに来てくれていて、ドライバーで大学まで送ってくれたジュリーさんもいました。（留学生はジュリーさんに頼めば、片道 40 ドルで空港まで送迎してくれます。Uber や Taxi などの交通機関は片道 100 ドル近くすることもあるのでお得です。）オリエンテーションは、到着して 2 日後から 1 週間くらい続きまし

た。日によって様々なイベントがあり、友達を作る機会でもあったし、ダウンタウンや大学をグループごとに回ることができ、見学することができました。諸手続きはほとんど留学前に済んでいたのであまりなかったです。

### ⑤ 語学研修期間

正規科目履修期間が秋学期からスタートするプログラムだったので語学学校には行きませんでした。

### ⑥ 正規科目履修期間

#### ◆ 大学の施設・環境について

大学は比較的大きく、色々な施設があります。図書館（課題などはほとんど図書館でこなしていました）、ハント／食堂（朝、昼、晩、ご飯を出してくれます。住む寮から近い！）、ハントとは別にカフェ（サンドイッチとサラダがメイン、スタバが半年 5000 円分飲み放題！！）、テニスコート、体育館（ジムがあって、運動不足のときは汗を流しに行きました）などがあります。自然が多く、野生のリスやウサギがウロウロしているキャンパスです。キャンパスの周りには特に大きい建物はなく、大きいスーパーもバスか誰かにお願いして車で行かないといけない距離でした。でも、ダウンタウンにはおしゃれな雑貨屋さん、コンビニ、レストラン（タイ、メキシコ、インド、ベトナムやハンバーガーのお店など行ききれないほど）があり、雰囲気でも楽しむことができます。とても小さい町で人口もあまり多くないので、みんなフレンドリーで優しいです。目が合った人には笑顔で挨拶という感じでした。のびのびと過ごしやすい環境です。

#### ◆ 履修科目

##### Fall Semester

##### ・ ENG 103: English as a Second Language

月曜と水曜の週に2回、writingに関する授業でした。留学生だけが受ける授業で、先生も留学生のお世話をしてくれる Tucker さんだったので堅苦しくなく、ゲームや雑談などを挟み、楽しみながら Writing の基礎を勉強しました。日常的な課題はあまりなく、期末に5ページのレポートがあっただけでした。

##### ・ INT 130: American Culture

アメリカの文化の歴史を学ぶ授業でした。この授業も留学生だけが受ける授業で、先生は留学生のアドバイザーをしてくれている Amy さんでした。この授業は屋外授業が多く、大学近くの散策や美術館に行くこともありました。アメリカの文化に慣れる、もっと知るためには欠かせない授業でした。課題はプレゼンが合計2回、レポートが合計2枚でした。

• **AS 106: Asian Civilizations**

授業選択に悩んでいた時にアドバイザーの Amy さんに「私のクラスだし、アジアのことを学ぶクラス」だとお勧めしてもらい、この授業を取りました。アジア圏の国それぞれの文化の歴史、宗教、政治などを広く授業で取り上げていました。授業は学生参加型でディスカッションが多く、アジアから来た留学生ということで先生から意見を求められることも多くありました。この授業はプレゼン 1 回、大きなレポート 3 回と毎週 journal という A4 サイズ 1 枚のレポートと課題がありました。Journal は先生が指定した本を 1 冊読んで書くというもので、毎日 reading に追われていました。でも、この膨大な課題をこなしていくにつれ、自分の英語力と忍耐力の成長を感じました。最後にはほんまに頑張っってよかったと心から思えた授業です。めっちゃお勧めです！

• **COMM 100: Public Speaking**

この授業もアドバイザーの先生のお勧めで取りました。この授業は水曜日に 1 回の講義の授業と、月曜日・水曜日にある Lab の実践の授業で成り立っていました。Lab の授業は 10 人という少人数クラスで、教科書についてのテストや様々な形式のプレゼンをしたり、そのプレゼンに向けて話し合いをするグループディスカッションなどがありました。現地の学生に向けた Speaking の授業なので、周りの学生のプレゼンは私の想像と桁違いに上手で不安になった時もあったけど、それ以上にプレゼンについて自分に足りないことなどを学ぶことが多かった授業です。

• **JPNS 101 A: Beginning of Japanese 1 (Japanese teacher assistant)**

日本語の授業の先生のお手伝いをする授業です。学生たちが会話の練習をするときに隣で教えてあげたり、見本になってあげたりとあまり難しいことをすることはいいです。日本語に興味をもって学びたいと思ってくれている学生たちばかりなので、友達を作りやすい環境だし、みんなが頑張っって新しい言語を勉強している姿に元気をもらえます。授業時間外にも日本語の勉強を手伝っってほしいと言われた時には、自分の課題そっちのけで図書館で閉館ギリギリまで教えていたこともありました。テストなどは全くなく、授業に出れば OK です。

• **PHE 171: Tennis**

小さい頃からテニスを習っっていたので、勉強の空き時間にと思い取りました。7 人くらいの少人数のクラスで、コーチも冗談好きな楽しい人でした。クラスのみんは未経験者でしたが、和気あいあいとしていました。スポーツを一緒にすることで、たわいもない会話をしてました。半学期の授業で、実技のテストもないので気軽に受けてみてください。

## Spring Semester

### • ENG 204: Children's/ Young Adult Literature

アドバイザーの先生にお勧めされ取りました。特に、この授業は同女のゼミの授業と単位変換ができるのが魅力でもありました。子供が読む本を題材として、その本の背景や子供に与える影響などを広く浅く授業で学び、ディスカッションやプレゼン、ペーパー、感想文などの課題がありました。文学の授業なのでペーパーの書き方は厳しく、課題も多く、話し合いも簡単ではなかったですが、とてもためになった授業でした。

### • COMM 280: Intercultural Communication

異文化コミュニケーションの授業です。ラオス、ブラジル、韓国、日本など様々な国を取り上げて、その国々の文化、言葉、コミュニケーションの特徴などをアメリカと比べながら勉強しました。講座が主なクラスであまりディスカッションなどはなかったけど、学生が手を挙げ意見を発言するのが多かったです。授業中は、ビデオを見て理解を深めるという時間が毎回 30 分くらいありました。この授業ではテストが 3 回、レポートが 2 回、最終プレゼンが 1 回ありました。

### • POLS 209: Women and Politics

この授業はアメリカの女性の政治について勉強します。歴史をさかのぼり深く、広く学びました。この授業の先生が Women and politics についての本を出している、とても女性の政治に詳しい先生で、豆知識や先生の経験談などを踏まえてたくさん話をしてくれました。1 時間 20 分の授業でしたが、毎回あっという間に時間が過ぎていました。毎週の授業の予習とその予習で学んだことを A4 の紙に書いて提出する課題がありました。それに加えて中間テスト、期末テストと 10 ページの最終ペーパーもありました。授業では政治の専門用語ばかりで Reading も多く、テストやペーパーと盛りだくさんの授業で本当に大変で時間がないと焦ってばかりの授業だったのですが、先生はその頑張りをととても評価してくれて半年間諦めずに必死に頑張ってたよかったですと思えた授業でした。

### • ART 124: Digital Photography/ Printmaking

パソコンや専門的な技術を用いて、写真を加工し新しい作品を作っていました。この授業は、他の授業よりも 1 時間長いので、ゆっくりと授業が進められていました。私は絵がほんとに下手なんですけど、この授業は絵心有り無し関係なく楽しむことができます。特に色々な技術に触れながら作品に関われるので、毎回の授業に飽きなかったです。先生はよくジョークを言うのですが、誰も笑わないほど面白くないです。でも、この授業は自由でとても過ごしやすく、他の学生と話もしやすいです。ワシントン D.C.の美術館に行くフィールドトリップが 1 回あり、作品ごとにフィードバックがあります。

・ **PHE 148: Ballroom Dance**

アメリカ伝統のダンスをします。ハイヒールを履いて、映画で見たことがあるような舞踏会で踊るようなダンスを 1 から教えてくれます。ペアで踊るんですが、毎回の授業で固定のペアではなく、色々な人とペアを組み友達を作ることができます。大学の近くで活動している団体さんに招待されて、地元の人たちと踊ることもありました。

・ **JPNS 102: Beginning Japanese as TA**

秋学期に続き、春学期も日本語の TA をしました。秋学期と比べて学生数が減ってしまっていたのですが、春学期も履修してくれた学生たちは日本語のスキルがとても伸びており、成長を見れたことがとてもうれしかったです。

◆ **授業、レポート、定期試験**

授業は少人数クラスから大人数クラスまで様々ですが、日本の授業と全く違うのは学生が手を挙げてどんどん発言することです。他の人と違う意見があるときは、間違っている場合でも関係なく発言できる環境があります。ディスカッションを設ける授業がほとんどで、学生同士の意見交換をします。この時間も静かに時間が過ぎるのを待つグループはなく、声が止むことはありません。レポートは授業によって枚数や形式は全く違います。特にレポートの書き方が違うのがややこしくて間違えそうになります。でも、レポート形式も採点対象なのでダブルチェックを心掛けていました。定期テストは正誤問題、記号問題、記述問題などがありました。特に記述問題は **Essay** で答えるなど長文で答えるものが多かったです。現地の学生と同じように授業を受け、同じようにテストを受けるのは本当に難しいことです。でも、周りにいる先生や友達がサポートしてくれます。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

テニスチームに入っていました。小さい頃からテニスを習っていたので、授業の息抜きに取ったテニスの授業で、コーチからチームに入ってほしいと誘っていただいたので思い切ってやってみることにしました。秋学期は毎日出される課題に必死で、あまりチームの活動に参加することができなかつたけど、春学期は授業終わりに練習に参加したり、学校や近くの学校である試合に出たりしていました。チームのみんなはチームメイトのことをとても大切にしてくれる人たちで、一緒に楽しくテニスできました。

COSMOS というクラブにも入っていました。留学生は必然的に入るクラブで、月に 1 回か 2 回くらいカラオケ、映画、ゲームなどのイベントがあり、わちゃわちゃと遊んでいました。

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

寮は PEG という大学の中で 1 番新しい寮の 4 階に住んでいました。この寮は Peg Student という中学や高校を飛び級してきた学生が住む寮です。1 部屋 2~3 人部屋でトイレ、お風呂

呂は共有です。フロアごとにリビングとキッチンがあり、暇なときはリビングでお話ししたり映画を見たり、ゲームをしたりしていました。食事はハントという食堂かカフェで朝、昼、晩の 3 回取ることができます。ハントではサラダバー、アジアバー、アメリカ料理スペース、アイスバーなど種類豊富でおいしいです！！毎日ご飯は楽しみの 1 つでした。寮は図書館の隣にあってハントは階段を登れば、教室は横に歩いたらすぐのところですよ。

### ⑨ 長期休暇の過ごし方

Fall break は留学生みんなでバス、ホテルを予約してワシントン D.C.に行きました。美術館を観光したり大きなモールで買い物をしたり、夜にはみんなで映画を見たりしていました。

Winter break はフロリダに住んでいるいとこの家に 2 週間滞在していました。ユニバやディズニー、クリスマスディナーなどフロリダに住んでいるからこそできることをたくさん味わいました。日本人なので、半年ぶりの日本食を毎日楽しんでいました。残りの 1 週間は日本の友達とニューヨークに行きました。有名な観光地に行ったり、少し大通りから外れた道を歩いてみたり、カウントダウンで 13 時間立ちっぱなしだったりと思い出に残る旅行でした。

Thanksgiving break は、1 日目は韓国人の友達が泊まりに行くところに誘ってもらい、Thanksgiving のご飯や子供たちと遊んだり、映画を見たりくつろいでいました。2 日目の夜に寮に戻り、3 日目から国際免許を持っている韓国人の友達に運転してもらい、隣町の Richmond にぶらりと旅行に行きました。

Spring break は留学生のために寮を開けてもらい、滞在していました。何もすることがなく久しぶりの暇を楽しむことができました。

### ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

就職活動はまだまだ先のことだと思っていたので何もしていませんでした。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

旅行のため予約したホテルの場所がワシントン D.C.の中で上位に入るほど治安が悪いところだったこと、鍵が全く開けられなかったこと、たまたま入ったレストランが、バー兼レストランだったことなどハプニングがたくさんあったけど、みんなで大丈夫って言い合い、最終的に良いことも悪いことも全て合わせてとてもいい思い出になりました。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

毎日膨大に出される課題です。これはほんとに辛かったです。頑張っても終わらせてもまた次

の課題が出されての繰り返しでした。それに加えてプレゼン、テストなどがあったときは、1 日中閉館まで図書館に籠っても間に合わないほどでした。私は段取りがあまりよくなく、課題に慣れるのにも苦勞しました。でも、数をこなしていくうちに前まで何時間もかけてやっていたものを 1 時間ほどで終わらすことができるくらいに成長していました。どんなに辛くても諦めずに頑張っていたよかったですという達成感を味わいました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

平日と休日の MBU の学生が別人すぎて驚きました。平日は真面目な学生で授業にも積極的に参加し、プレゼンも尊敬するほど上手。でも休日になり、イベントなど学校の行事では日が変わるまで声を張り上げ、踊り、とても楽しんでいました。MBU の学生はメリハリがあり、勉強するときはすごく集中して、遊ぶときは本気で楽しむ姿を感じ取ることができました。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

学生、先生たちがとても優しく、留学生思いです。学生と先生の距離が近いため、疑問に思ったことや不安なことがあればすぐに相談に乗ってくれます。それにみんなフレンドリーで、目が合うとにこっと笑顔でほほ笑んでくれます。すごく過ごしやすい環境です。

### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必需品です。図書館にもパソコンがあるけど、お昼や夕方は利用する学生が多く使えないときがあります。それに自分の部屋、リビング、図書館など好きなところで課題ができるのにも便利です。私は、歯ブラシは日本製がいいなと思います。アメリカのはブラシの部分が大きかったです。洗顔、化粧水などは普段使っているものを持っていくことをお勧めします。外用の靴とは別に、部屋履きのスリッパを持っていくこともお勧めします。

### ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語が聞きやすくなり、話しやすくなりました。ん？となることが減り、理解をするのにあまり時間がかからず、すらすらと聞けるようになりました。それに、言われたことに対しての返しもあり詰まらずに答えられるようになったと実感できました。

### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

私は留学をしようかすごく悩んでいました。その理由は、不安や人生に一度しかない成人式に出られないことはもちろん、大学 2 年生という一番楽しい 1 年を同女のみんなと一緒に過ごせないのがすごく嫌だったからです。でも、留学は学生のうちにしかできないことで、大学生で一番したかったことを諦めて、これから先「行っておけばよかった」と後悔したく

ないと思いました。実際、私が課題に追われているときの成人式の前後は、日本にいるみんなのインスタのストーリーが成人式や同窓会ばかりで、「行きたい、、、」と心から思ったこともありました。それに、課題が多くて心が折れそうになったこともあります。でも、毎日コツコツ積み重ね、努力したことは自分の自信になっているし、何よりも留学を通して成長したことを実感しています。私は留学したことは全く後悔してないし、一緒に頑張った仲間と出会えてよかったなって思っています。残り少ない学生時代に、もし留学をしようと思っている、もしくは考えているなら、ぜひ留学してきてほしいです！！

#### **IV. 将来の目標**

##### **① 今後の進路、将来の目標・夢**

将来の夢は特に決まっていなくても、様々な企業や人と関わり、国際的に関われる仕事をしたいと思っています。

## V. 写真



9月下旬に、大学の近くのダウンタウンで行われた Harry Potter Festival に行った時の写真です。Harry Potter のキャラクターに仮装した人たちがいっぱいいました。趣味で絵を描いている人に Harry Potter 風に私たちもキャラクター化してもらいました。



クリスマスツリーの点灯式に参加しました。ライトアップの瞬間は鳥肌が立つくらいきれいで感動しました。



テニスチームの最後の集まりで集合写真を撮りました。全員集まることはできなかったけど、いつも賑やかで優しいチームメイトとコーチたちは最高でした！



コロナウィルスの影響で予定よりも2か月帰国が早まり、予約していた飛行機はキャンセルされるというまさかの連続の終わり方だったけど、それもいい思い出。日本に帰国したときに撮った写真です。仲良くなれるか不安だったけど、ほんまにこの2人と一緒に頑張れてよかった。